

【生徒の実態】

	第1学年	第2学年	第3学年
学力分析	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の入学診断テストの結果、定期考査の結果などから分数の正答率が低い。 ・一方、整数を使った計算問題に関しては、小学校段階の問題、中学校の正負の数共に、基本的な内容に関しては正答率が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の正負の数や文字式のルールがあいまいな生徒が全体の30パーセントほどいるため、2年次の式の計算や連立方程式の計算問題の理解が難しいことがある。 ・文章問題を読み取る読解力や数学的に表現する力を向上させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査の結果から、関数の変化の割合の問題、相対度数の問題、不確定な事象の起こりやすさの理由を説明する問題についての正答率が全国平均より下回っていることがわかった。 ・その他の項目は全国より上回っていた。
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は集中して取り組む生徒が多く、問題演習では学び合いをしながら問題解決をしようとする姿が多くみられる。 ・家庭学習の習慣を身に付けさせるために、ICTを使用しているが使用頻度の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本的な計算はできるが、文章問題などの応用になると、粘り強く取り組めない生徒が多い。 ・授業内の学び合いの活動では、積極的に学び合うことができている。 ・数学的な表現に対して、苦手意識が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業にとっても意欲的である。学び合い活動も活発に行っている。 ・計算問題では、単純な問題はできていても、複合問題になる手が止まる生徒が多い。 ・文章題では、問題文の整理や必要な知識を活用し表現する力がまだ身に付いていないように感じる。
生徒アンケートの結果より	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを使用している家庭学習は多くの生徒が実施していると回答しているが、実際に学習しているかを確認すると、一部のみとなっている生徒も多い。 ・ねらいと振り返りを実施していることで、一単位時間での学習内容は理解できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に差があるため、教科書コンテンツのヒントカードやeライブラリの利用を促す必要がある。 ・数学への興味関心を引くような授業や、PDCAサイクルを意識した授業づくりを行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「タブレットやモニターなどのICTを活用していると、学んだ内容を復習したいと思える授業である」の項目について肯定的な意見が低かった。 ・学び合い活動にロイロノートや自習時間にeライブラリを活用していく必要がある。

【授業改善の手だて】

	第1学年	第2学年	第3学年
改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を使用するだけでなく、ICTを効果的に使用した授業展開を行い生徒の興味を引くようにする。 ・学び合いを通して、理解出来ている生徒もさらに理解を深めさせ、クラス全体で学習が進められるような授業展開をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・与える情報を精査して、学び合いの活動を増やし生徒自身に活動する時間を増やす。 ・クラスの学習状況を踏まえて、問題づくりに励んでいく。 ・丁寧な机間指導を再度意識する。 ・PDCAサイクルを心掛けた授業づくりを心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りの小テストを今後も行き、応用問題を解くための基礎知識の定着を図る。 ・ICTを適切に活用し、生徒の理解がより深まるようにする。復習ができるように、学習プリントの解説プリントやデータなどで生徒がいつでも見られるようにする。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内でICTの活用状況について確認を行う。また、学び合いの授業については、感想などを書かせることで学習の定着が図れているが確認をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な机間指導を通して、生徒の自己肯定感を高める。 ・定期テストや単元ごとのテストで知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識の定着を、机間指導や単元ごとのレポート等で確認を行う。 ・ICTの活用状況は授業内や、管理アカウントで生徒一人一人の取り組み状況の確認を行う。